

## 新型コロナウイルス感染症「次なる波」への備え

新型コロナウイルス感染症へのこれまでの取組みや課題を踏まえ、「次なる波」に備え、①保健所体制、②入院医療、③外来医療、④自宅療養者へのフォローアップなどそれぞれ対策の強化を図っていく。

### I 保健所体制

- 1 感染状況（フェーズ）に応じた応援体制強化  
感染拡大期は、新規陽性者数に応じ、応援職員を順次増員
- 2 積極的疫学調査重点化の目安の設定  
積極的疫学調査の重点化を判断する目安を設定

### II 入院医療

- 1 医療提供体制の確保  
新たな医療提供体制確保計画の策定及び必要な体制整備
- 2 円滑な退院・転院調整の促進  
回復者転院支援窓口を活用し、回復者の転院受入を一層促進
- 3 宿泊療養施設の医療ケア強化  
医師派遣施設の増設に向けて、関係機関と協議

### III 外来医療

- 1 発熱等診療・検査医療機関の公表  
「発熱等診療・検査医療機関」の同意を前提とした公表により、アクセス向上を推進

### IV 自宅療養者へのフォローアップ

- 1 健康観察の強化  
従来の健康観察に加え、血圧計の貸出等により特に妊婦への対応を強化
- 2 往診体制の強化  
県医師会と連携した往診対応医師研修や協力要請により、対応医療機関を拡充
- 3 市町と連携した生活支援の強化  
市町の協力を得て、自宅療養者等により迅速に食料品等を配送する仕組みを構築

### V その他

- 1 中和抗体療法の推進  
保健所毎に地域医師会、配備医療機関と協議の上、地域の実情に応じた投与体制の整備
- 2 医療従事者との情報共有の推進  
診療内容及び県対策等の情報を共有するとともに、先進事例等を踏まえた対策検討